

令和7年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 文章の構成をつかみ、筆者の主張の根拠となる部分を整理して読むことに課題がみられる。 - 授業の課題に即して自分の考えを伝え、友達の話を聞き、自分の思いや考えを広げていくことが苦手な様子がみられる。 - 言葉がもつよさを認識し、言葉をよりよく使うことが苦手な様子がみられる。	- 段落相互の関係に着目させ、筆者の主張に説得力をもたせる効果になっていることを実感できるようにする。【表現】 - 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる場面を意図的に設定する。【表現】 - 言語感覚を養い、言葉を通じて積極的に人と関わっていく指導をする。【対話】		
算数	- 場面を想像し、文章から基準量と比較量を見分けて立式することに苦労している様子がみられる。 - 既習の内容の定着を積み重ねていくことが難しい様子がみられる。	- 数直線や4マス関係表を活用するように指導する。かけ算の式から考えさせることで、一貫した方法で立式できるようにする。【表現】 - 前時までの学習や前学年の学習の振り返りを授業の始めに行うことで、学習をつなげられるようにする。【発見】		
理科	- 生活体験や既習事項を基に予想を立てたり、予想を基に観察や実験の計画を立てたりする力に個人差が大きい。 - 観察や実験で検証した内容を、生活や既習事項とつなげて考えることが難しい様子がみられる。	- 既習事項の振り返りをしたり単元の最初に自然事象についての共通体験を行わせたりする。また、意見交流の場を設定して、学びを広げられるようにする。【発見・対話】 - 単元のつながりを意識して授業を組み立てたり、考察の型を例示したりすることで、苦手な児童でも自分の考えを書けるようにする。【表現】		
社会	- 日本の政治や歴史、世界の情報を通して学習問題を自分事として捉えて課題設定し、学習計画を立てていくことが難しい様子がみられる。 - 資料から必要な情報を選び、正確に読み取ることが難しい様子がみられる。	- 想像図や資料、単元の見通しがもてる年表などを単元の導入時に提示する工夫を行う。そして、学習問題や計画を話し合いながら立てていくようにする。【対話・決定】 - 資料の読み取り方と記録の仕方を丁寧に指導し、必要な視点が身に付くようにする。【表現】		
音楽	- 歌唱では、きれいに響かせて歌うことができる児童が多いが、音量に課題がみられる。 - 楽譜を読み取る能力の個人差が大きく、気付いたことと感じたことを結び付けて表現に生かすことに課題がみられる。	- 歌唱活動でも、友達同士で聴き合う場面を設定し、呼吸の仕方や発音の仕方を身に付けられるようにする。【対話・表現】 - 授業の中で、少人数グループで話し合いをし、発言する児童が偏らないようにする。【発見・対話】		
図画工作	自分の表現したいことに合わせて既習事項を工夫することや、表現したことを自分の言葉で説明することに課題がみられる。	絵で表す活動では、今まで扱ってきた道具と技法を振り返らせることで、自分の表現したいことを工夫できるようにする。表現したことを発表する機会をつくり言語化を促す。【対話・表現】		
家庭	- 興味をもって取り組もうとする意欲はあるが、今までの経験による技能の差が大きい。 - 学習のまとめとしての振り返りの時に、学んだことを実生活に結び付けて考えることに課題がみられる。	- 個別対応や、デジタル教科書の活用、板書の工夫、実物の提示などで知識を補いつつ、児童同士で教え合ったりすることで、技能の習得を図る。【対話・表現】 - 一つ一つの活動が実生活にどう結びつくのかを実例を挙げて示したり、疑問に思ったことを調べ発表し合ったりする中で実感させる。【発見・決定】		
体育	- 運動への多様な関わり方（する、みる、支える、知る）を生かして学習することに課題がみられる。 - 自分なりの目標を設定し、意識して運動することに課題がみられる。	- 単元初めに4つの観点「する」「みる」「支える」「知る」を運動の特性に合わせた具体例とともに示し、常に運動に関わっていることを意識させる。【対話・表現】 - 授業の目標を示した上で自分の目標を設定させ、取組状況を学習中に確認するようにする。【決定】		
外国語	英語を使ったコミュニケーションの取り組み姿勢に差が見られる。	英語を使ったやりとりに教師も意図的に加わり、盛り上げたり称賛したりして伝えることの楽しさを味わわせる。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。